

ベビー&amp;チャイルドシート

## クルリラ プラス 360°セーフティ

Cururila Plus 360° safety

## 取扱説明書／保証書

身長**40cmから100cmまで**のお子さま用です。

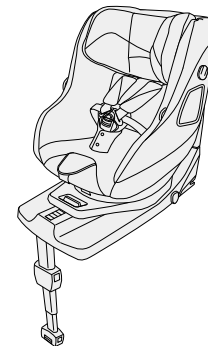
本製品は、i-Size幼児拘束装置です。

本製品は、車の取扱説明書に車メーカーによって示されるi-Size適合車の着座位置で主に使用するものとして、UN ECE-R129に基づいて認可されています。

本製品は、車の取扱説明書に i-Size適合やISOFIX対応の表記がある座席で使用可能です。但し、ISOFIX対応の表記があっても全ての車に取り付けられるものではありません。取り付け前には必ず車種適合表をご確認ください。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。**製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。**

UN ECE-R129/00適合  
後向き使用時:お子さまの身長:40~83cm / 体重:13kg未満  
前向き使用時:お子さまの身長:71~100cm / 体重:17.5kg以下



ご使用前に〈P2〉

取り付ける前に〈P22〉

車への取り付け〈P35〉  
お子さまの乗せ降ろし〈P44〉

お手入れ〈P50〉

## 〈お願い〉

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13  
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814  
携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

# もくじ

## ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
取り付ける手順	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件	9
座席の条件	11
ご使用上の注意	17
日常の点検	21

## 取り付ける前に

レッグサポートの使いかた	22
リクライニングのしかた	23
シート部の回転のしかた	25
サイドシールドの使いかた	27
シートバックカバーの使いかた	28
パッドの使いかた	29
フレックスシェードの使いかた	32

## 車への取り付け

取り付け準備	35
取り付けかた	37
取り付け後の確認	41
車からの取り外しかた	42

## お子さまの乗せ降ろし

肩ハーネスの位置の目安	44
肩ハーネスの位置調節のしかた	45
お子さまの乗せかた	46
お子さまの降ろしかた	49

## お手入れ・その他

シートカバーの取り外しかた	50
シートカバーの取り付けかた	52
お手入れ／保管／廃棄のしかた	53
困ったときには	54
保証について	56
アフターサービスについての連絡先	57
保証書	58

# ご使用前に

## チャイルドシートについて




- ・チャイルドシートは自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

### 〈中古品のご使用について〉

- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

## 本書の表示について

・「**危険**」、「**警告**」、「**注意**」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 <b>危 険</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 <b>警 告</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注 意</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

## 保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。
- ・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。

## 取り付ける手順

・必ずお読みください。

ご使用前に

P2～P10

車の座席を確認

P11～P16

ご使用上の注意

P17～P20

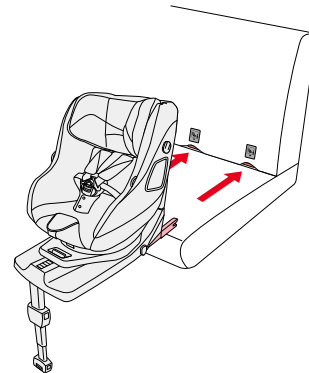
取り付ける前に

P22～P34

車への取り付け

P35～P41

- ・取り付けかた
- ・取り付け後の確認



お子さまの乗せ降ろし

P44～P49

- ・肩ハーネス位置の目安
- ・肩ハーネスの位置調節のしかた
- ・お子さまの乗せかた
- ・お子さまの降ろしかた

日常の点検

P21

ご使用前に

# 各部のなまえ

## 梱包内容

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

〈パッド／カバー〉（P28～P31参照）・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。



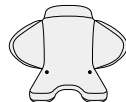
シートバックカバー  
(使いかた P28参照)



肩パッドカバー  
(使いかた P29参照)



ヘッドサポートクッション  
(使いかた P29参照)



ベビーサポートクッション  
(使いかた P29参照)



ヒップインナーシート  
(使いかた P29参照)

## 〈付属品〉



フレックスシェード  
(使いかた P32参照)



ガイドキャップ(2個)  
(使いかた P37参照)

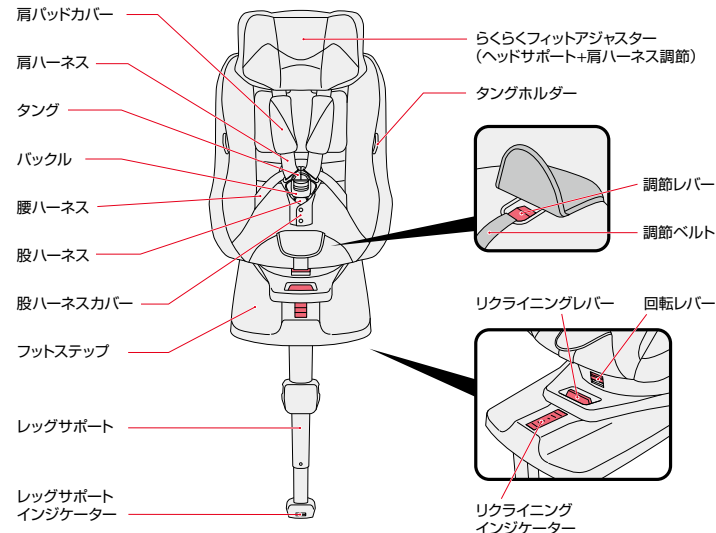


取扱説明書  
(本書)

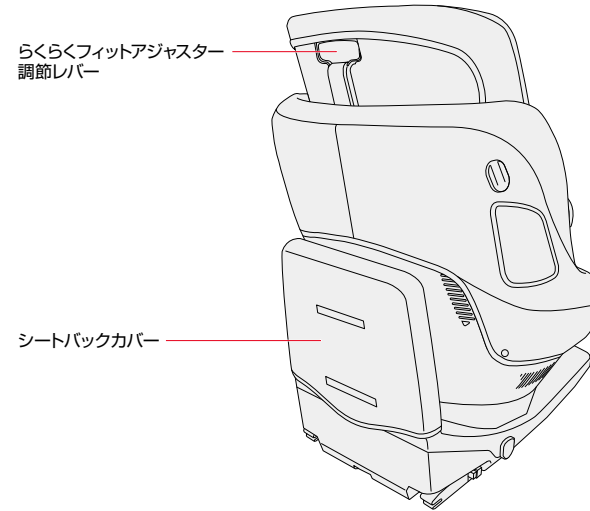
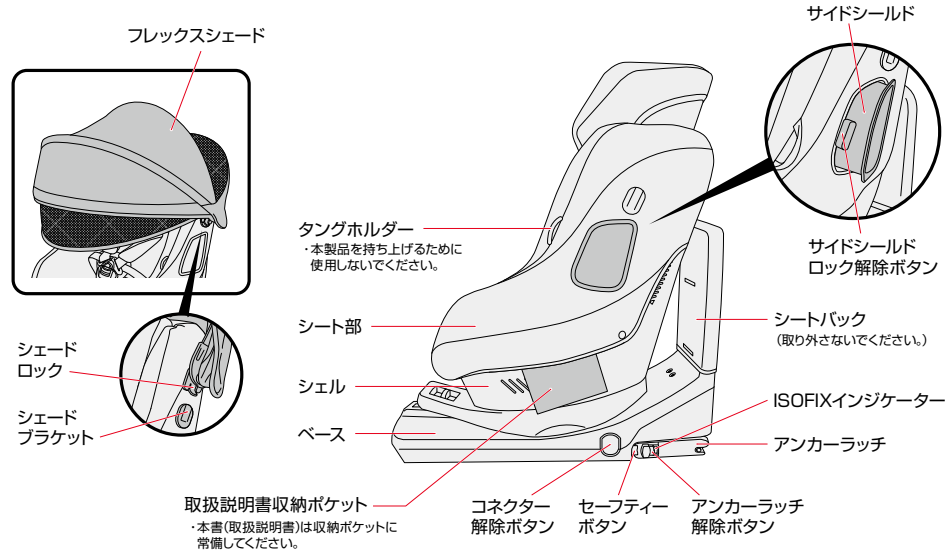
## 〈重要〉ご使用前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。  
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <http://www.aprica.jp/>



## 各部のなまえ



# お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
- ・参考体重は目安です。お子さまの身長に合わせてご使用ください。



**危険**

・条件を満たしていないお子さまには使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

お子さまの身長に合わせて、3通りの使いかたがあります。

身長 40cm～83cmまで

後向き 身長60cm以下の場合 参考体重:7kg未満

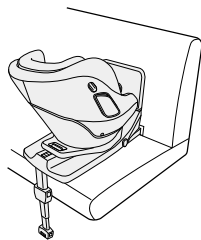
進行方向に対して後向き

〈パッド類〉(P29参照)

- ・ヘッドサポートクッション必要
- ・ベビーサポートクッション必要
- ・ヒップインナーシート必要
- ・肩パッドカバー必要

・シートバックカバー必要

・全てのリクライニング角度が使用可能



**警告**

・お子さまの月齢が15カ月を超えるまでは後向きで使用する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

後向き 身長60cmを超える場合 参考体重:7kg～13kg未満

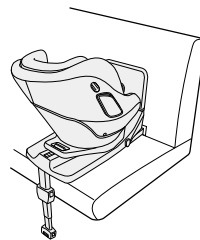
進行方向に対して後向き

〈パッド類〉(P29参照)

- ・ヘッドサポートクッション使用不可
- ・ベビーサポートクッション使用不可
- ・ヒップインナーシート使用不可
- ・肩パッドカバー必要

・シートバックカバー必要

・全てのリクライニング角度が使用可能



**警告**

・お子さまの月齢が15カ月を超えるまでは後向きで使用する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

身長 71cm～100cmまで

前向き

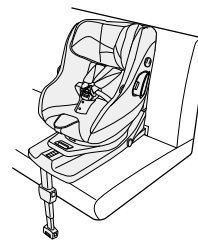
進行方向に対して前向き

〈パッド類〉(P29参照)

- ・ヘッドサポートクッション使用不可
- ・ベビーサポートクッション使用不可
- ・ヒップインナーシート使用不可
- ・肩パッドカバー必要

・シートバックカバー必要

・全てのリクライニング角度が使用可能



**警告**

・お子さまの月齢が15カ月を超えるまでは前向きで使用する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

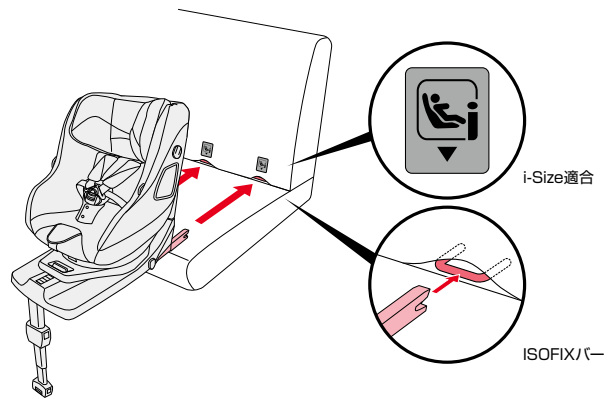
年 齢:15カ月を超えて～4歳頃まで  
参考体重:9kg～17.5kg以下※  
※17.5kgを超えるお子さまにはご使用になれません。

ご使用前に

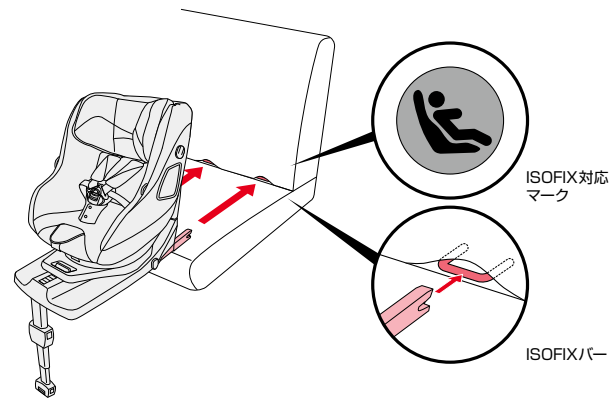
## 座席の条件

本製品は次の条件を満たす座席に取り付けできます。

車の取扱説明書に **i-Size適合** の表記や、下記のマークがある座席。



車の取扱説明書に **ISOFIX対応** の表記や、下記のマークがある座席。




# 座席の条件

## 取り付け可能な座席

取り付け方法	座席条件	使用
前向き・後向き 共通	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	前座席：エアバッグを装備している	使用できません
	前座席：エアバッグのON/OFFが可能でON(作動状態)にしている ※	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます

※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。

- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には取り付けできませんが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。
- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めします。

 : このマークのある座席には取り付けないでください。



## 車への取り付け時の注意

本製品は、ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席のある車に取り付けることができます。  
**ただし、ISOFIXバーを装備した全ての車に取り付けられるものではありません。**  
 ご使用の際には、  
 ・取り付けが可能かを車種適合で確認してください。  
 ・車の取扱説明書に本製品が取り付け可能なサイズ等級(下表参照)として記載されているかを確認してください。

※車種適合につきましては、アプリカホームページ[<http://www.aprica.jp/>]で最新版がご覧になれます。



お子さまの身長	取り付け可能なサイズ等級	固定具
40～83cmまで	D	ISO/R2
	C	ISO/R3
71～100cmまで	B1	ISO/F2X
	A	ISO/F3

後向きに取り付け時、本製品が該当するISOFIXサイズ等級はDです。



前向きに取り付け時、本製品が該当するISOFIXサイズ等級はB1です。

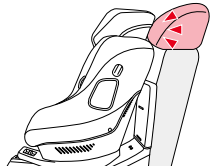




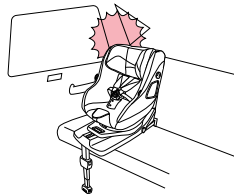
# 座席の条件

## 〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

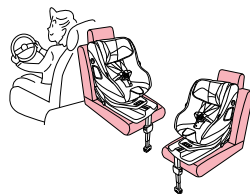
・ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する座席。



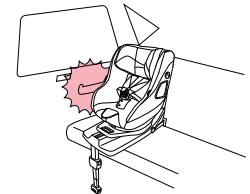
・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



## 〈取り付けできない座席〉・座席の形状

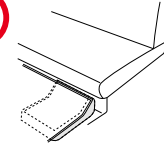
・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)  
・極端に奥行きが長い座席。(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)



・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。  
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車など)



・レッグサポートが車の床に全く接しない座席。  
・レッグサポートを一番短くしても座面に極端な隙間ができる座席。



## ご使用上の注意



危険

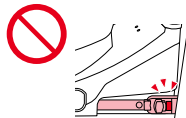
誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・身長40cm未満及び100cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けない。エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・回転ロックが掛かっていない状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・レッグサポートを収納した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。及び物を挟んで使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・横向きに使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。



# ご使用上の注意



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。  
(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にハーネス調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。
- ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・可動部に水やジュース、泥水、ゴミなどが入り操作ができない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。
- ・梱包袋や収納袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。



注意

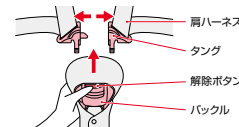
誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。  
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。(別売の保護マットを使用する。)
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとペースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。
- ・本製品を車のシートベルトで取り付けて使用しない。
- ・タングホルダーを持って本製品を持ち上げない。破れるおそれがあります。

## 緊急時のお子さまの降ろしかた

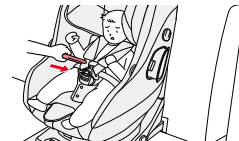
緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

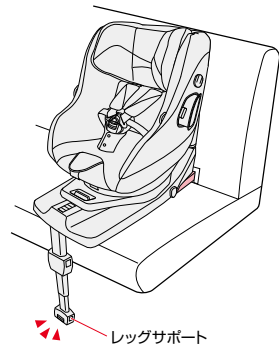
- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



## 日常の点検

### ・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。



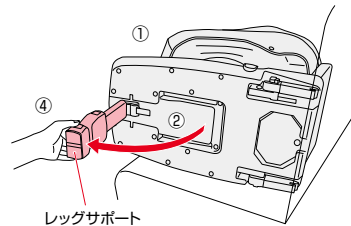
#### 〈取り付け後の確認〉(P41参照)

- ・シートバックカバーが装着されている。
- ・レッグサポートが車のフロアにしっかり接していて、レッグサポートインジケーターが「緑色」になっている。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。
- ・ISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。(左右)
- ・座席の背もたれにベースが接している。
- ・左右のコネクターが同じ長さになっている。

## レッグサポートの使いかた

1

- ①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
- ②レッグサポートを起こす。
- ③レッグサポートが固定されていることを確認する。
- ④先端部を手で押さえる。



警告

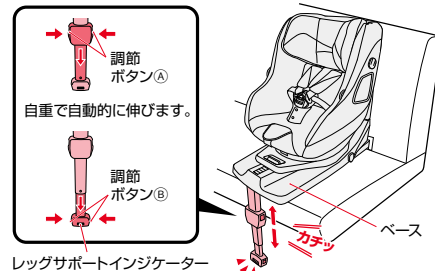
- ・水やジュース、泥水、ゴミなどが入り高さ調節ができない場合は使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**
- ・レッグサポート操作時は手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

注意

- ・チャイルドシートを周囲のものにつけないように注意してください。
- ・レッグサポートを収納するときは、長さを最も短い状態に調節してから収納してください。

2

- ①レッグサポートをゆっくりと下げ、車のフロアに接するように長さを調節する。
  - ・車のフロアに接しない場合は調節ボタン⑧を押してレッグサポートをフロアに届くまで伸ばす。ベースの前方と車のシートの間に2.5cm以上のすき間がある場合は調節ボタン⑦を押してレッグサポートを縮める。
- ②レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。
- ③レッグサポートが車のフロアに接し、インジケーターが「赤色」から「緑色」になっていることを確認する。
  - ・出荷時は最も短い状態の長さになっています。



危険

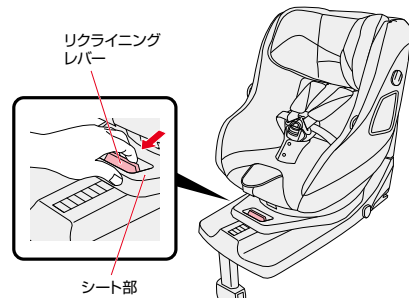
- ・レッグサポートインジケーターが「赤色」の状態で使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

# リクライニングのしかた

「後向き」、「前向き」使用時、お子さまの身長にかかわらず、7段階に角度を調節することができます。

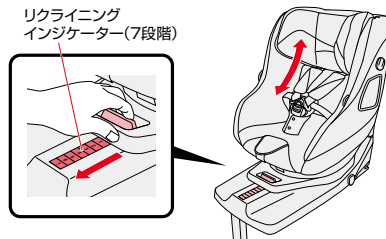
製品を箱から取り出した際には、7段目にセットされています。必要に応じて角度を調節してください。

**1** リクライニングレバーを手前に引きながら、



**アドバイス** リクライニングレバーが引きにくい場合は、シート部を軽く前後に動かすと引きやすくなります。

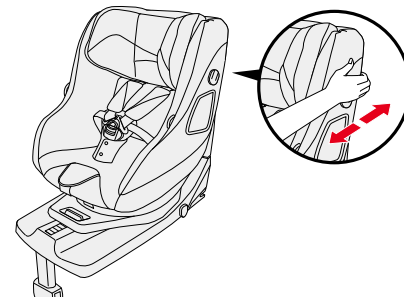
**2** シート部のリクライニング角度を調節する。(7段階)



**警告**

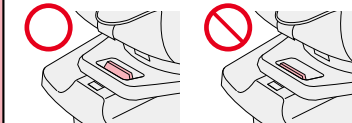
- ・リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。
- ・水やジュース、泥水、ゴミなどが入りリクライニングができない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**3** リクライニングレバーから手を離してシート部を前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



リクライニングレバーから手を離さないとロックされません。

**警告**



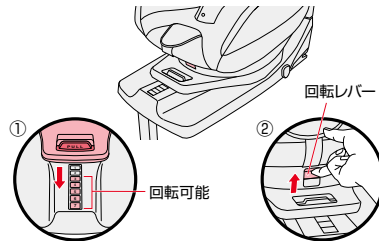
・操作後、リクライニングレバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・車の走行中にリクライニング操作を行わない。

# シート部の回転のしかた

リクライニング3、4、5、6、7段目の角度の時、シート部を回転することができます。

- 1** ①リクライニング角度を3～7段目のいずれかにする。  
②回転レバーを押し上げながらシート部をまわす。

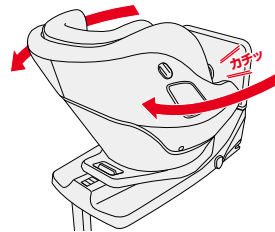


**警告** 水やジュース、泥水、ゴミなどが入り回転できない場合は使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**注意** リクライニングが1～2段目の時は回転させない。  
シートカバーが破れるおそれがあります。

- 2** 動き始めたら回転レバーから手を離し、シート部が「後向き」または「前向き」になると、「カチッ」と音がしてロックされます。

〈後向き〉



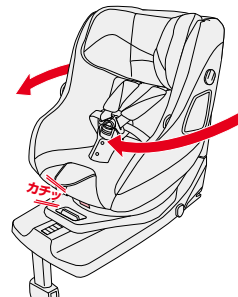
・回転レバーから手を離さないとロックされません。  
・横向きではロックされません。

**警告**

・回転操作時、お子さまの手、指、足を近づけないよう注意すること。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。



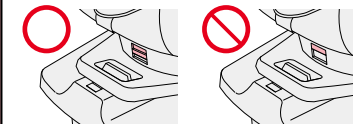
〈前向き〉



- 3** シート部を左右にゆすり、回転がロックされていることを確認する。

**警告**

・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・車の走行中に回転操作を行わない。

**注意**

・長時間使用されない時や保管の時には、回転レバーが正しくロックされているか確認してください。  
故障の原因になります。

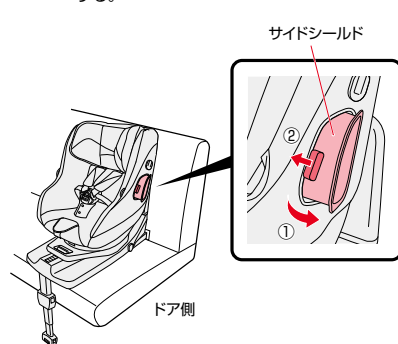
## サイドシールドの使いかた

※本製品はUN ECE-R129の認可を受けており、サイドシールドの開閉に関係なく安全にご使用いただけます。

※ドア側のサイドシールドが車のドアトリムなどに干渉する場合は、サイドシールドを閉じてください。

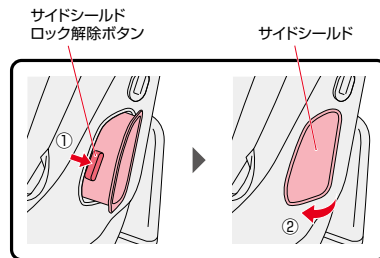
### 1 〈開きかた〉

- ①ドア側のサイドシールドを開く。
- ②サイドシールドがロックされていることを確認する。



### 2 〈閉じかた〉

- ①サイドシールドロック解除ボタンを押し込みながら、
- ②サイドシールドを閉じる。



**警告**

・サイドシールドの操作時は、お子さまの手や指を近付けないこと。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。



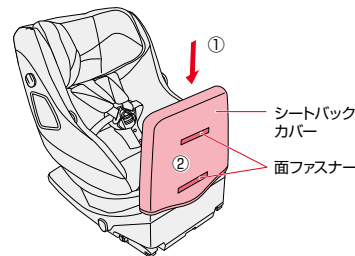
## シートバックカバーの使いかた

シートバックカバーを必ず使用し、お子さまの足を保護してください。

※製品を箱から出した際には、本体にセットされています。

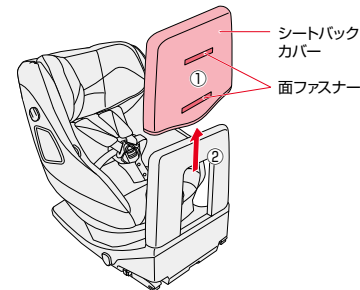
### 1 〈シートバックカバーの取り付け〉

- ①シートバックカバーをシートバックに差し込む。
- ②面ファスナーをとめる。(2カ所)



### 2 〈シートバックカバーの取り外し〉

- ①面ファスナーを外す。(2カ所)
- ②シートバックカバーを抜き取る。



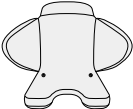



**警告**

・シートバックカバーを外して使用しない。シートバックカバーを使用しない状態でベース部を素足で蹴ったり、こすったりしてけがをするおそれがあります。

# パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

	肩パッドカバー	ヘッドサポートクッション	ベビーサポートクッション	ヒップインナーシート
<p>○:必ず取り付けてください。</p> <p>⊘:必ず取り外してください。</p>				
身長が40cm～60cm以下	○	○	○	○
身長が60cmを超えて～100cmまで	○	⊘	⊘	⊘



衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- ・パッド類は本製品の専用品であるため、他の製品には使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。



- ・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
- ・パッド類を取扱説明書記載の目的以外で使用しないでください。
- ・パッド類をなくさないよう注意してください。

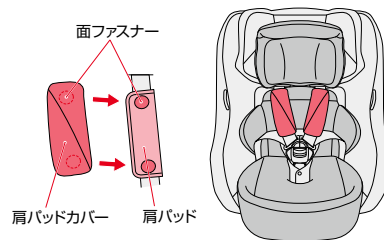
- ・肩パッドカバーの取り付け・取り外し(P30参照)
- ・ヘッドサポートクッションの取り付け・取り外し(P30参照)
- ・ベビーサポートクッションの取り付け・取り外し(P31参照)
- ・ヒップインナーシートの取り付け・取り外し(P31参照)
- ・フレックスシェードの使いかた(P32～P34参照)
- ・お手入れのしかた(P53参照)

・パッド類の組み合わせは29ページを参照ください。

1

## ＜肩パッドカバーの取り付け・取り外し＞

肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせて取り付ける。取り付け後は肩パッドカバーを引っ張り確実に取り付けられていることを確認する。  
取り外しは逆の手順で行ってください。

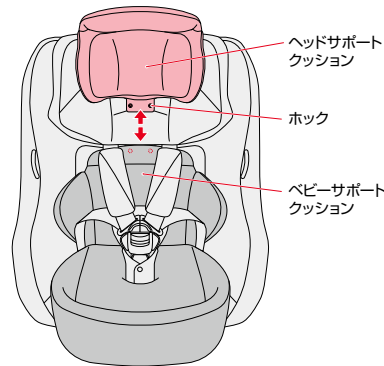


・肩パッドが外れた状態で使用しない。

2

## ＜ヘッドサポートクッションの取り付け・取り外し＞

ヘッドサポートクッションのホックとベビーサポートクッションのホックとで取り付け、取り外しをする。



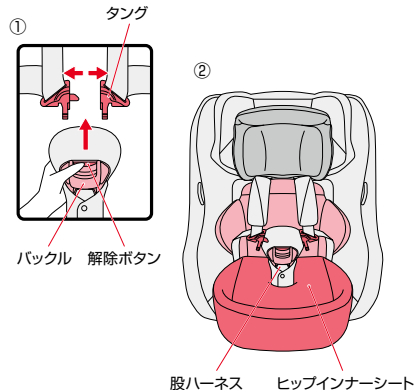


## パッドの使いかた

3

### ＜ヒップインナーシートの取り付け・取り外し＞

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②股ハーネスをヒップインナーシートの通し穴に通し、取り付け、取り外しをする。

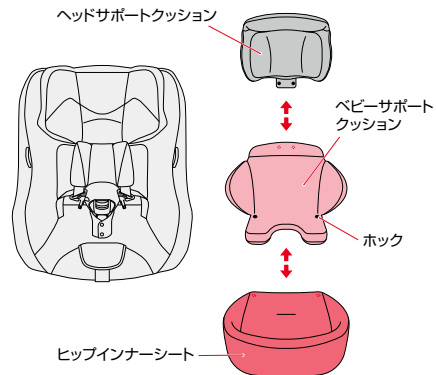


4

### ＜ベビーサポートクッションの取り付け・取り外し＞

ベビーサポートクッションのフックとヒップインナーシートのフックとで取り付け、取り外しをする。

・ヘッドサポートクッションはフックで取り付け、取り外しをします。(P30参照)



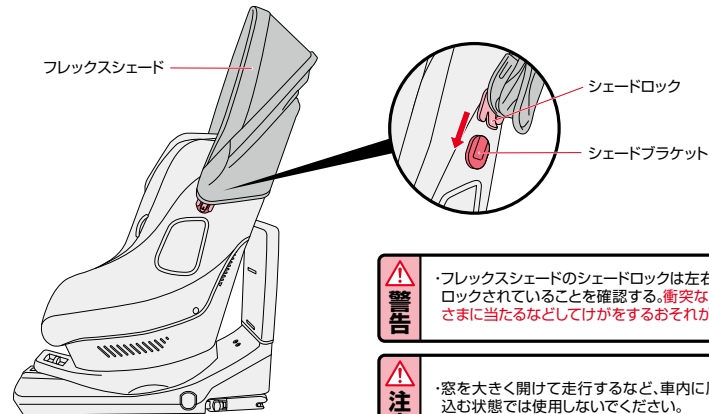
## フレックスシェードの使いかた

付属品としてフレックスシェード(日除け)が同梱されています。日差しなどを防ぎたい時に本製品に取り付けてお使いください。

1

### ＜フレックスシェードの取り付け＞

フレックスシェードのシェードロックを本体のシェードブラケットに差し込む。(左右)



・フレックスシェードのシェードロックは左右共にしっかりロックされていることを確認する。衝突などの際にお子さまに当たるなどしてけがをするおそれがあります。

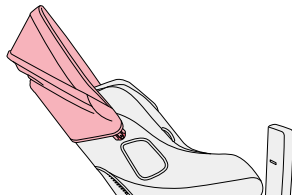


・窓を大きく開けて走行するなど、車内に風が強く吹き込む状態では使用しないでください。

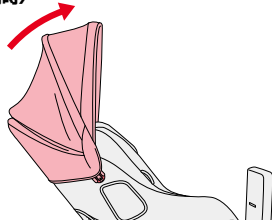
# フレックスシェードの使いかた

## 2 <フレックスシェードの使いかた> 後向き時の使いかた(3Way)

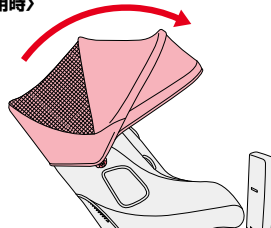
### <1段目使用時>



### <2段目使用時>

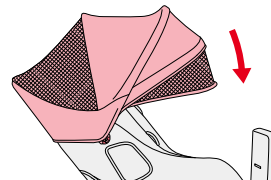


### <3段目使用時>



### <エキストラシェード(メッシュ)使用時>

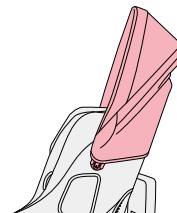
・エキストラシェードを内側から矢印の方向に開く。



## 3 <フレックスシェードの使いかた> 前向き時の使いかた

・フレックスシェードが1段目で固定されていることを確認する。

### <1段目>



**警告**

・前向き時はフレックスシェードの1段目以外で使用しない。**衝突などの際にお子さまがけがをするおそれがあります。**  
・お子さまの頭がフレックスシェードに接触する場合はフレックスシェードを使用しない。**衝突などの際にお子さまがけがをするおそれがあります。**

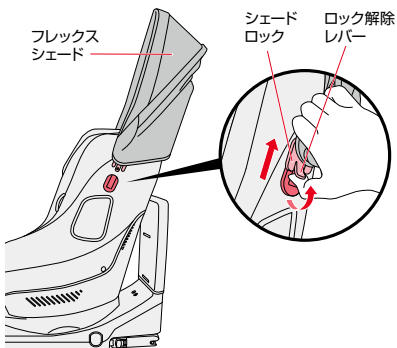


**アドバイス**

フレックスシェードが車の天井に当たる場合は使用しないでください。

## 4 <フレックスシェードの取り外し>

・シェードロックのロック解除レバーを引き上げ、フレックスシェードを取り外す。(左右)



取り付ける前に

# 取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。

●車の座席形状により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP11～P16を参照してください。

## 危険

- ・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けられない。  
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。
- ・チャイルドシートが確実に固定出来ない座席では使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。
- ・レッグサポートを収納した状態で使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。

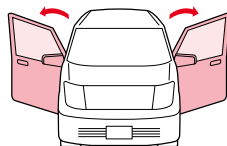
## 警告

- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取りつけない。

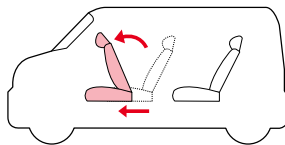
## 1

### 〈取り付け作業のスペース確保〉

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



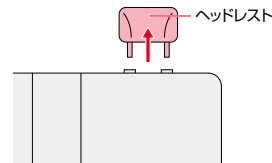
②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



## 2

### 〈取り付ける座席の準備〉

- ①ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
- ②取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。



## 警告

・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けられない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

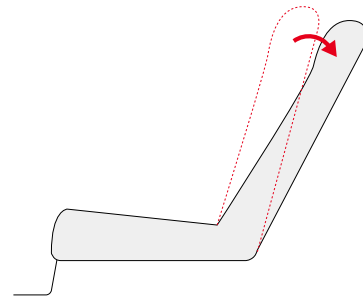


・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

③背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



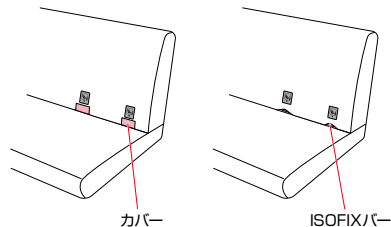
車の背もたれをリクライニングした場合、ISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)が見えなくなる場合があります。そのときはISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)が見えるところまで車の背もたれを起こしてください。およそ100°が目安です。



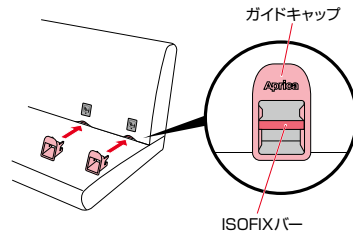
# 取り付けかた

- ・本製品は、後向き、前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。
- ・車への取り付けが完了した後で、お子さまの身長に合わせてご使用ください。
- ・本書では左後部座席での取り付けかたを説明しています。

**1** ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを外す。(左右)



**2** ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み、取り付ける。(左右)



ISOFIXバーが車のシートにかくれて見えにくい場合は、付属のガイドキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車のシートによってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。

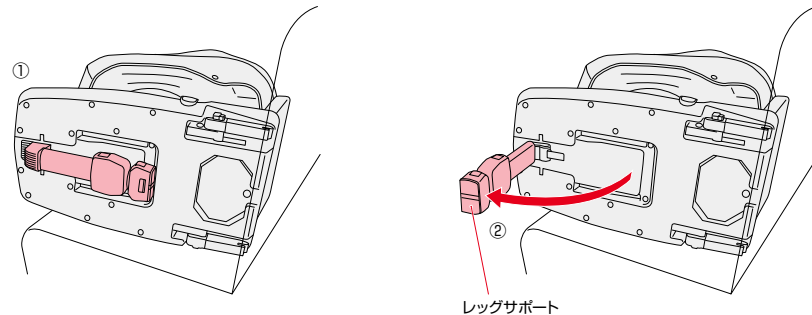
**3**

〈レッグサポートを起こす〉

① 作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。

② レッグサポートを起こす。

③ レッグサポートが固定されていることを確認する。



**警告**

・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**  
・本製品を移動する際には、レッグサポートが自重で自動的に伸びるため注意する。さらにレッグサポートで手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

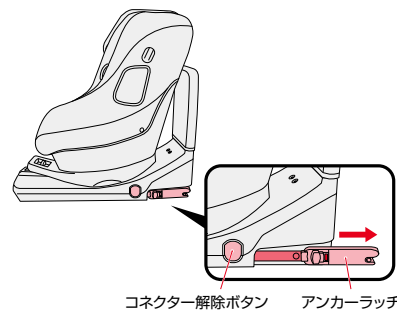


**注意**

・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

# 取り付けかた

- 4** コネクター解除ボタン(左右のどちらか)を押しながら、アンカーラッチを最後まで後方に引き出す。



**注意**

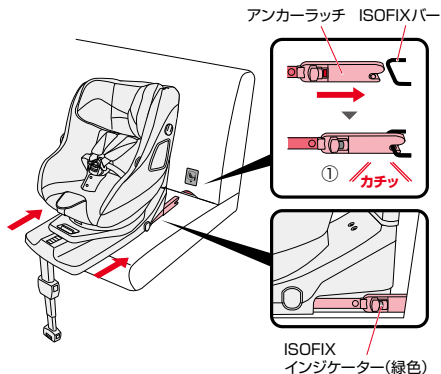
- ・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。(別売のシート保護マットをご使用ください。)
- 座席の革をいためるおそれがあります。

シート保護マット

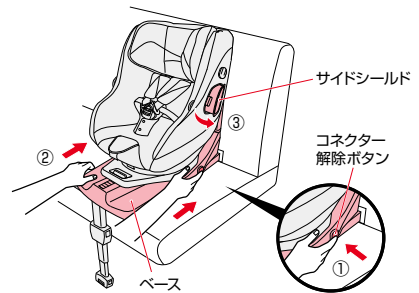
- 5** ①左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を押し込む。  
②左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。



レッグサポートの状態によりベースと車のシートの間にすき間ができることでベースが押し込みにくい場合は、調節ボタン⑤を押して、レッグサポートを縮めてください。



- 6** ①左右どちらかのコネクター解除ボタンを押しながら車の座席の背もたれに接するまでベースを押しつける。  
②コネクター解除ボタンが復帰していることを確認後にベースを手前に引き、動かないことを確認する。  
③ドア側のサイドシールドを開く。(P27参照)

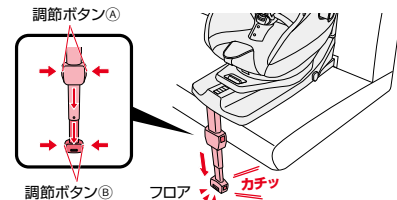


**警告**

- ・チャイルドシートと座席の背もたれに隙間が生じる場合は座席のリクライニングを使用して隙間を無くすこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- 7** ①レッグサポートの調節ボタン⑤を押して長さを調節し、レッグサポートインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。車のフロアに接しない場合は⑥を押して長さを調節する。  
②レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。

・出荷時は最も短い状態の長さになっています。



・レッグサポートは前方へ引き出して接地させてください。

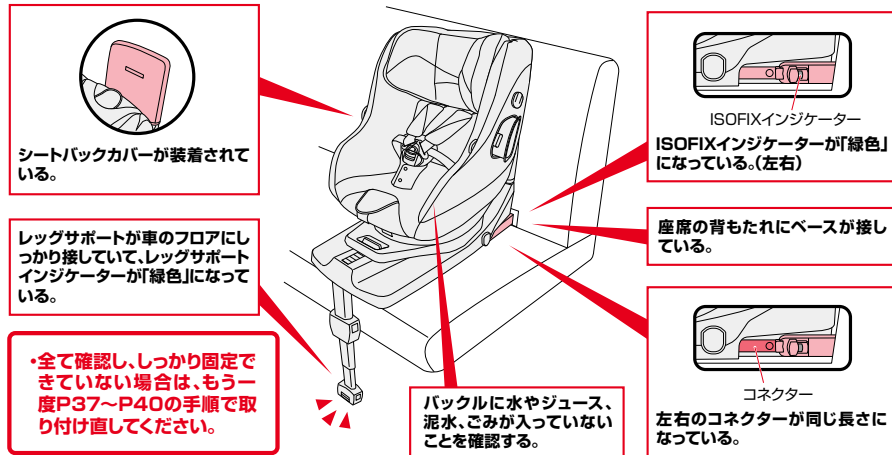


・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



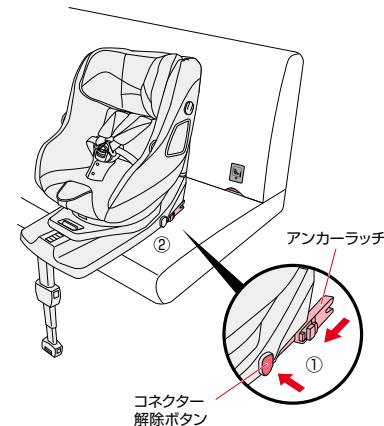
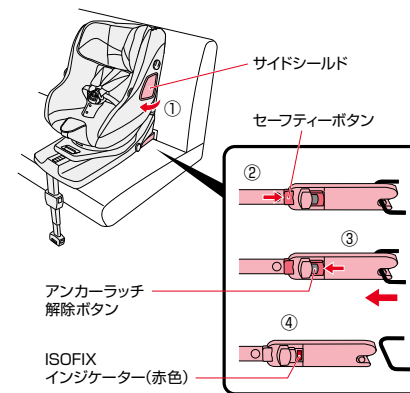
## 取り付け後の確認

- ・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。  
**しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。**



## 車からの取り外しかた

- 1** ①ドア側のサイドシールドを閉じる。(P27参照)  
 ②左右のセーフティーボタンを押しながら、  
 ③アンカーラッチ解除ボタンを左右同時に押し込み、ベースをまっすぐ手前に引き、解除する。  
 ④左右のISOFIXインジケータが「緑色」から「赤色」になったことを確認する。
- 2** ①左右どちらかのコネクター解除ボタンを押しながら左右のアンカーラッチを収納する。  
 ②コネクター解除ボタンから指を放し、解除ボタンが復帰しアンカーラッチが動かないことを確認する。

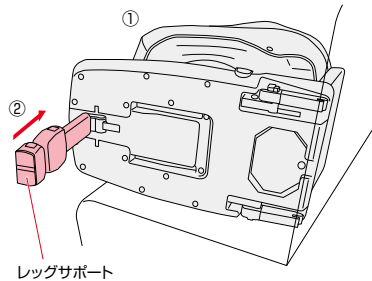


## 車からの取り外しかた

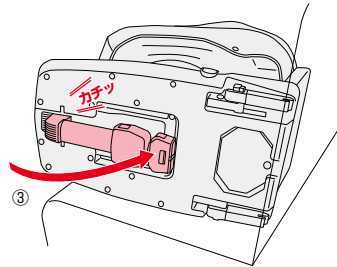
3

### 〈レッグサポートを収納する〉

- ①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
- ②レッグサポートの長さを短くする。(P22参照)



- ③レッグサポートを「カチッ」と音がするまで折りたたみ、ロックされたことを確認する。



**警告**

・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**  
・本製品を移動する際には、レッグサポートが自重で自動的に伸びるため注意する。さらにレッグサポートで手、指などをさはさないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**



**注意**

・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

## 肩ハーネスの位置の目安

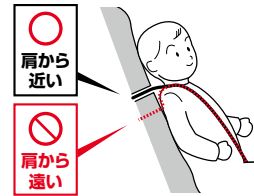
・各ポジションにより、使用する肩ハーネスの位置が異なります。

※製品を箱から取り出した際には、1番下にセットされています。お子さまの体格に合わせて、正しい肩ハーネスの位置に調節してください。

### 後向き 使用時

身長:40cm～83cmまで  
年齢:新生児～18カ月頃まで  
参考体重:2.5kg～13kg未満

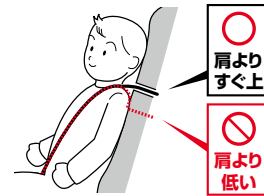
・肩に近い位置に肩ハーネスの高さを調節する。



### 前向き 使用時

身長:71cm～100cmまで  
年齢:15カ月を超えて～4歳頃まで  
参考体重:9kg～17.5kg以下 ※  
※17.5kgを超えるお子さまにはご使用に  
なれません。

・肩よりすぐ上の位置に肩ハーネスの高さを調節する。



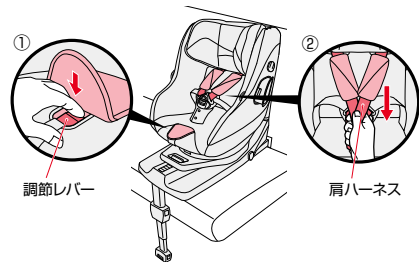
・肩ハーネスの位置は、らくらくフィットアジャスターで7段階に調節します。

## 肩ハーネスの位置調節のしかた

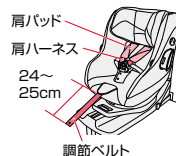
1

### 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



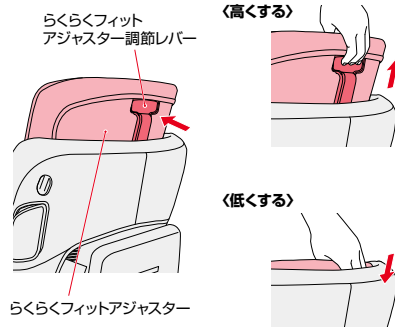
・肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。  
・肩ハーネスは調節ベルトが24～25cmくらい残るまで引き出せます。(らくらくフィットアジャスター1段階目時)



2

### 〈肩ハーネスの高さを調節する〉

- ①らくらくフィットアジャスター調節レバーを押し込み、高さを調節する。(7段階)
- ②適切な位置(P44参照)でレバーから指を離し、らくらくフィットアジャスターを上下に動かして固定されていることを確認する。



## お子さまの乗せかた

1

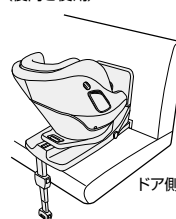
### 〈後向き・前向きに回転させる〉

お子さまの身長に合わせて、シート部を後向き、または前向きに回転させる。

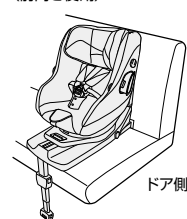


シート部が回転しないように他の人が本体を支えることが可能な場合は、シート部を横向き(ドア側にシート部を向けた状態)にしてお子さまを乗せることができます。

〈後向き使用〉



〈前向き使用〉



**警告**

・お子さまの月齢が15カ月を超えるまで前向きで  
使用しない。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**



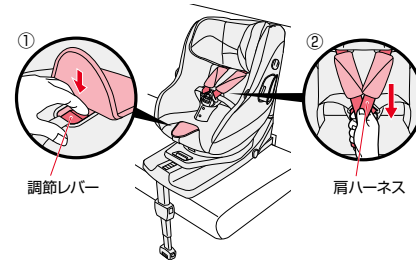
**注意**

・日差しにより、本体が熱くなることがありますので  
ご注意ください。

2

### 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



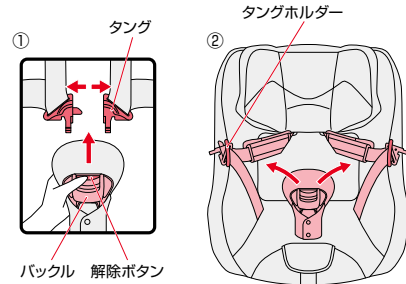
肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。



3

## ＜タングを外す＞

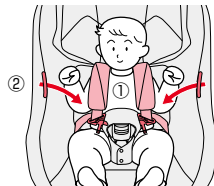
- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引っかける。



4

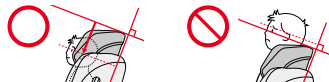
## ＜お子さまを乗せる＞

- ①お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
- ②左右のタングをタングホルダーから外す。
- ③お子さまの体格に合わせて、正しい肩ハーネスの位置に調節する。(P44～P45参照)



警告

・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

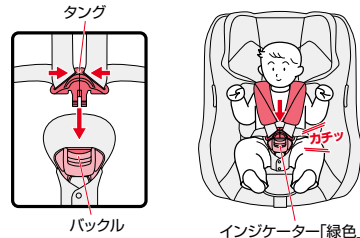


・お一人でお子さまをチャイルドシートに乗せる場合は横向きで乗せ降ろししない。シート部が急に回転し思わぬ重傷を負う可能性があります。

5

## ＜タングを差し込む＞

左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込み、バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。



アドバイス

タングがバックルに届きにくい場合は、車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。

危険

・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がせず、インジケーターが「緑色」にならない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

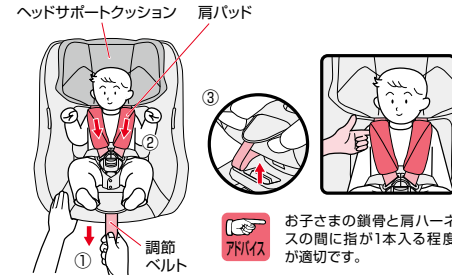
警告

・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。けがをすることがあります。  
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミが入った場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

6

## ＜肩ハーネスを短く調節する＞

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②左右の肩パッドをヘッドサポートクッションの手前に引き出し、お子さまの首に当たる位置に調節する。
- ③調節ベルトの先端のホックをシート裏のホックにとめる。



警告

・肩ハーネスが肩にかかっていない状態で使用しない。  
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

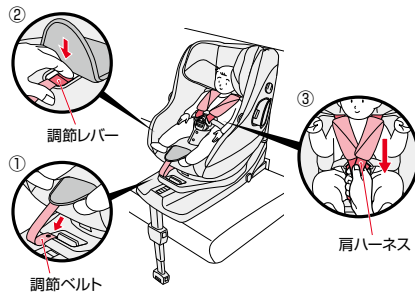


## お子さまの降ろしかた

1

### 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節ベルトのフックを外す。
- ②調節レバーを押す。
- ③調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)

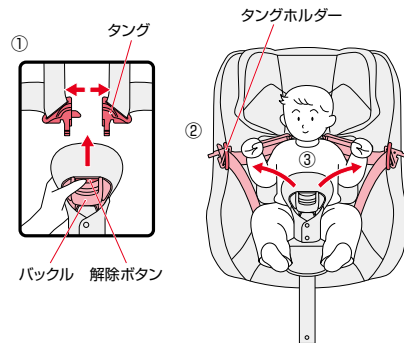


肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。

2

### 〈お子さまを降ろす〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引っかける。
- ③お子さまを降ろす。

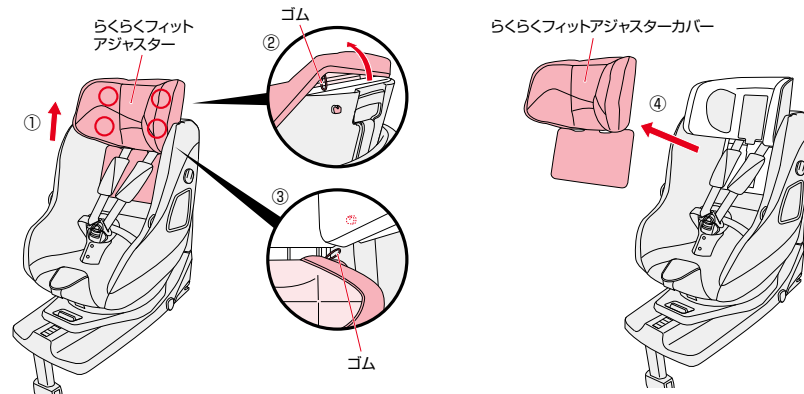


## シートカバーの取り外しかた

1

### 〈らくらくフィットアジャスターカバーを取り外す〉

- ①らくらくフィットアジャスターを最上段まで上げる。
- ②らくらくフィットアジャスター背面のゴム(2カ所)を外す。
- ③らくらくフィットアジャスター下部のゴム(2カ所)を外す。
- ④らくらくフィットアジャスターカバーを取り外す。

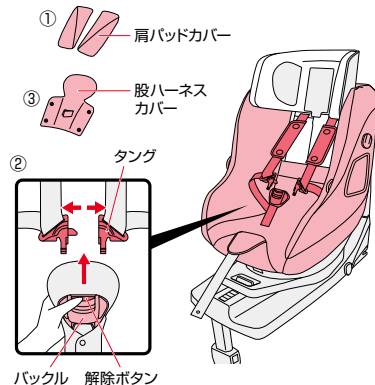


## シートカバーの取り外しかた

2

### ＜肩パッドカバー・股ハーネスカバーを取り外す＞

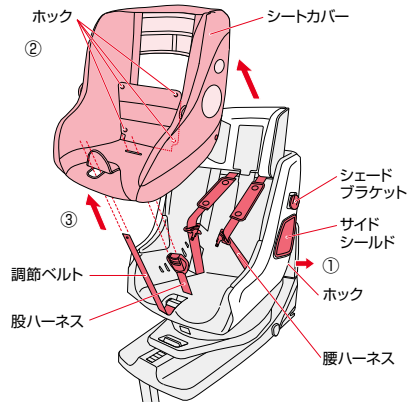
- ①肩パッドの面ファスナーを外し、肩パッドカバーを取り外す。(P30参照)
- ②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ③股ハーネスカバーのホック(2カ所)と面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。



3

### ＜シートカバーを取り外す＞

- ①シート部横側のホックを外す。(左右)
- ②背もたれ部のホックを外す。(4カ所)
- ③シェードブラケット、サイドシールド、腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを抜き取り、シートカバーを取り外す。



## シートカバーの取り付けかた

1

### ＜シートカバーを取り付ける＞

- ①シートカバーを本体にかぶせる。
- ②シェードブラケット、サイドシールド、腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを通し穴に通す。
- ③背もたれ部のホックをとめる。(4カ所)
- ④シート部横側のホックをとめる。(左右)

2

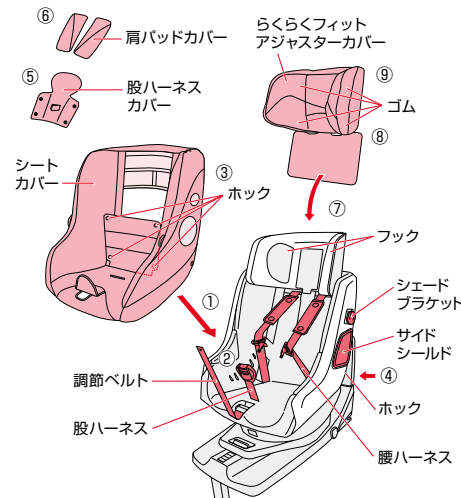
### ＜肩パッドカバー・股ハーネスカバーを取り付ける＞

- ⑤股ハーネスカバーの面ファスナーを股ハーネスに巻き付け、ホック(2カ所)をとめる。
- ⑥肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせ取り付け。(P30参照)

3

### ＜らくらくフィットアジャスターカバーを取り付ける＞

- ⑦らくらくフィットアジャスターカバーをかぶせる。
- ⑧らくらくフィットアジャスター下部のゴム(2カ所)をフックにとめる。
- ⑨らくらくフィットアジャスター背面のゴム(2カ所)をフックにとめる。



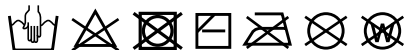
・取り付け後、リクライニング操作をしてもシートカバーやクッションの浮きが無いことを確認してください。



- ・正しい取り付け方をしないと指挟みなどの思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
- ・シートカバーを取り外した状態で使用しない。

# お手入れ／保管／廃棄のしかた

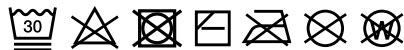
## 〈シートカバー、股ハーネスカバー、シートバックカバー、肩パッドカバー、ヒップインナーシートの洗濯〉



※ねじり又は絞り禁止

## 〈らくらくフィットアジャスターカバー、ヘッドサポートクッションカバーの洗濯〉

※ヘッドサポートクッションカバーは芯材を取り外してください。



※洗濯ネット使用、弱く絞る



・他のものと一緒に洗濯しないでください。  
色移り(移染)のおそれがあります。  
・ベビーサポートクッション、肩パッド、フレックスシェードは洗濯できません。樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れに従ってください。

## 〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・回転レバー付近にゴミがつかまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。



・本装置やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

## 〈保管するときは〉

- ・本装置を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。  
劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。

## 〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本装置に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示に従い処分、廃棄してください。

# 困ったときには

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

## 〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P57「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	本製品は、車の取扱説明書に次の表示がある座席に取り付けが可能です。 ・ i-Size 適合 ・ ISOFIX 対応 ただし、ISOFIX 対応の表記があっても全ての車両に取り付けられるものではありません。 座席の条件(P11～P16参照)や車種適合表(P16参照)をご確認ください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの身長や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。(P9「お子さまの条件」参照)

## 〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 (P35「取り付け準備」参照) 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。 弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P57「アフターサービスについての連絡先」参照)
アンカーラッチが引き出せない。	左右のコネクター解除ボタンの片側だけ押して、アンカーラッチを最後まで引き出してください。 (P39「取り付けかた」参照)
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。 (P37「取り付けかた」参照)

## 困ったときには〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

### 〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタングが差し込めない。	らくらくフィットアジャスターの位置を確認してください。(P45「肩ハーネスの位置調節のしかた」参照) 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。(P48「お子さまの乗せかた」参照)
チャイルドシートのバックル操作ができない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。(P48「お子さまの乗せかた」参照) 問題が解決しない場合は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P57「アフターサービスについての連絡先」参照)
バックルにジュースやゴミなどが入ってタングが差し込めない。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。(P57「アフターサービスについての連絡先」参照)

### 〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
シート部が回転しない。	リクライニング1、2段目では回転できません。リクライニング位置を3、4、5、6、7段目に合わせてください。(P25「シート部の回転のしかた」参照)
ヘッドサポートクッションの使用期間がわからない。	お子さまの身長が40cmから60cm以下の場合は必ず取り付けてください。参照 P29「パッドの使いかた」参照)
リクライニング操作ができない。	リクライニングレバーを手前に引きながらシート部のリクライニング角度を調節してください。参照 P23「リクライニングのしかた」参照) リクライニング部にゴミなどがはさまっていないかを確認してください。

## 保証について

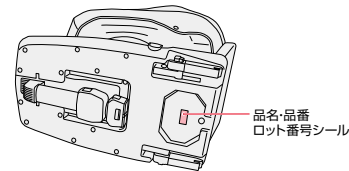
### 〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて  
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します  
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただきます  
とがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)  
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。  
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、  
**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



## アフターサービスについての連絡先

### アプリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL **0570-004-155**

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

お買い上げ時レシート  
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな  
対応が行えますよう、お買い上げ  
時のレシート(領収書)を貼り付  
けてください。